

清水埠頭株式会社 環境経営レポート (2024年4月～2025年3月)



発行日：令和7年6月1日

 清水埠頭株式会社

目次

代表者より	…2
事業所概要	…3
環境経営方針	…8
環境経営目標	…9
環境経営目標の実績	: CO ₂ 排出量と評価 …16
(2024年4月～2025年3月)	: 電力 …17
	: ガソリン …19
	: 軽油 …20
	: LPG …21
	: 重油(タグボート) …22
	: 水の使用量 …23
	: マテリアルリサイクル …24
	: エコ・社会貢献活動 …25
環境関連法規制等の遵守状況の確認及び 評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	…26
代表者による評価と見直し結果	…27

代表者より

進むべき進路を。その先の未来のために。

時代の流れを的確につかみ、お客様のニーズに応える。
安心・安全を基本理念に、立ち止まらないで前に進む。

当社は、清水港の発展とともに、港の持つ機能の一翼を担い、第三セクターとして
産業の振興に貢献するよう頑張ってきました。

自由な社風とソフトな環境、社員がそれぞれ個性を伸ばし、感性を磨く。
豊かな地域社会を築いていく上で、いつまでも必要とされる企業でありたいと願っております。

今回、2024年度(2024年4月～2025年3月)のレポートをお届けします。

2025年5月31日
代表取締役 鈴木健一郎



□ 事業所概要

- (1) 事業所名及び代表者名
 清水埠頭株式会社 代表取締役 鈴木 健一郎
 エコアクション21執行代表者 常務取締役 牧野 央
- (2) 所在地
 本社: 静岡県静岡市清水区清開三丁目5番40号
- (3) 資本金 300,000,000円
- (4) 設立年月日 昭和32年12月12日
- (5) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
 責任者 取締役総務部長 和田 直隆 TEL: 054-334-2288(代表)
 担当者 総務部総務課課長代理 佐藤 嘉晃
- (6) 事業内容
- ① 本社
 住所: 静岡市清水区清開三丁目 5番40号
 事業: 総務・経理業務
 曳船管理業務
 ウッドチップ荷役・保管業務
 セメント荷役・保管・出荷業務(UBE三菱)
- ② 穀物サイロ
 住所: 静岡市清水区清開3丁目5-37
 事業: 倉庫事業営業・穀物荷役・保管・出荷業務
- ③ セメント部
 住所: 静岡市清水区清開3丁目119-2
 事業: セメント荷役・保管・出荷業務(住友大阪)
- ④ リサイクル事業部
 住所: 静岡市清水区清開3丁目119-1
 事業: 産業廃棄物処理業務・一般廃棄物処理業務
- (7) 事業の規模(2024年3月期)
 売上高 3,075百万円
 主要貨物取扱数量 861,054トン
 従業員数 78名
 施設面積 14,073.65㎡
- (8) 事業年度 2024年度
 産業廃棄物処分業許可取得地域
- ① 産業廃棄物管理責任者 取締役総務部長 和田 直隆
 産業廃棄物処理施設管理責任者 総務部施設管理室長 杉本光生
- ② 産業廃棄物処分業・一般廃棄物処分業

取得地域	許可No.	許可年月日	許可期限	取扱廃棄物種類
静岡市	6222111377	令和1年5月31日	令和8年5月30日	木くず/動植物残さ
静岡市	20007号	令和6年2月6日	令和8年2月5日	再生利用を目的とする(木くず)

③ 施設の概要

<破砕施設>

設備名称	台数	処理能力
廃材破砕プラント設備	1	166.24トン/日(8時間)
パワーショベル	2	-
ホイールローダー	2	-
フォークリフト	2	-



<乾燥施設>

設備名称	台数	処理能力
動植物性残さ乾燥プラント設備	1	24.00トン/日(24時間)
フォークリフト	2	-



④ 処理方式

破砕/乾燥

⑤ 処理実績(受託した産業廃棄物の処理量)

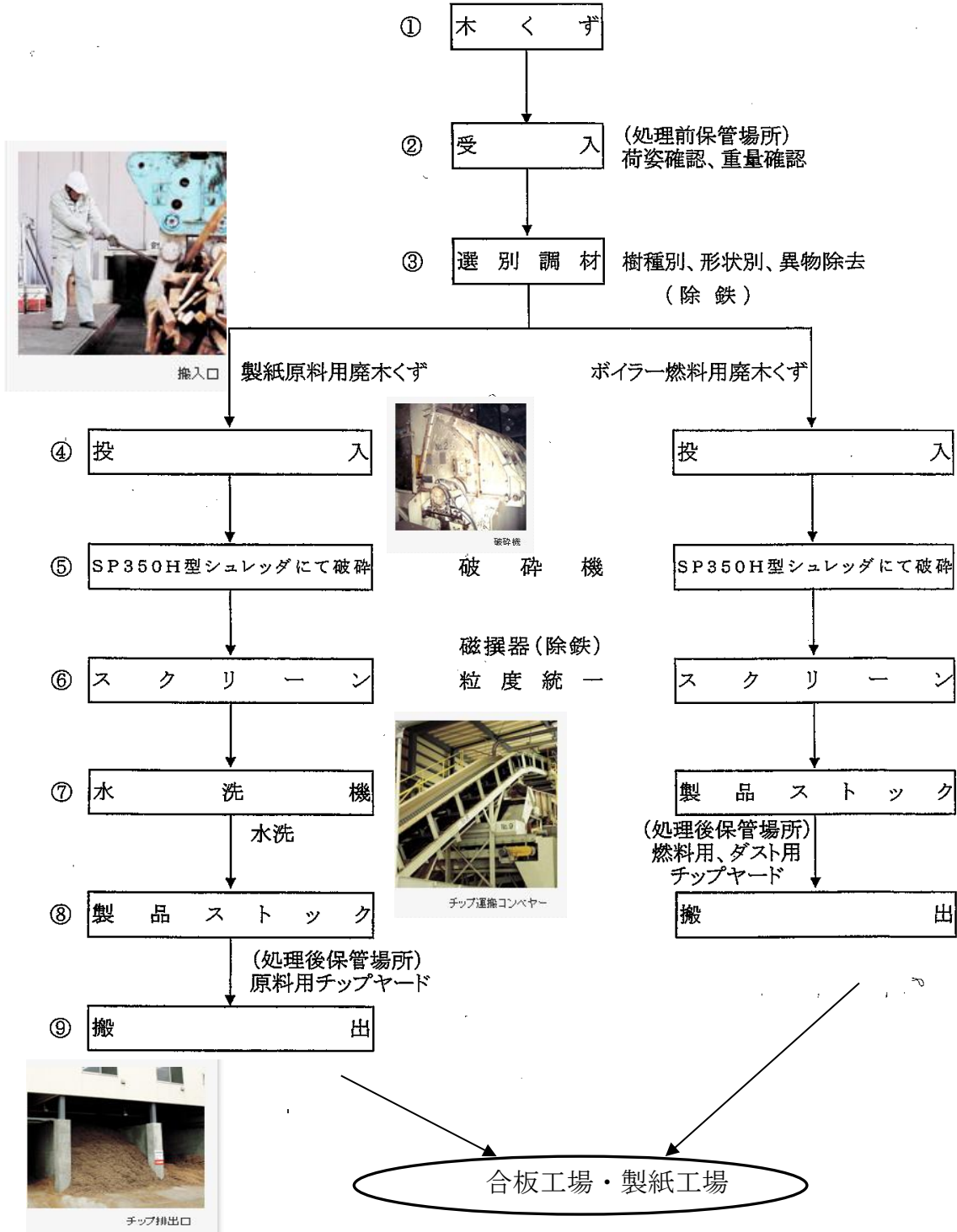
廃木材	9,341トン
動植物性残さ	907トン
一般廃棄物	72トン

⑥ 処理料金等

電話・電子メールなどにて、弊社担当者にご確認ください。

⑦ 産業廃棄物処理施設 処理工程図(廃材破碎)

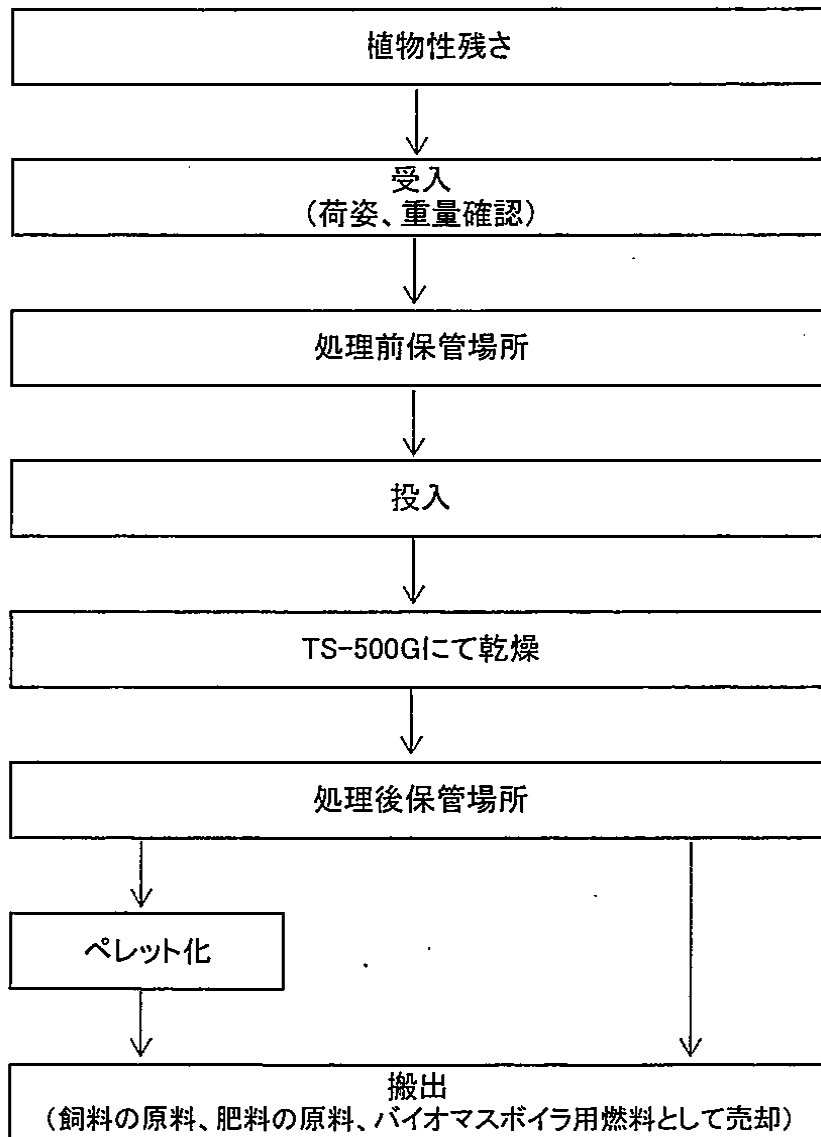
【廃木材 破碎処分】



⑧ 産業廃棄物処理施設 処理工程図(植物性残さ乾燥)

【植物性残さ 乾燥】

乾燥 : 植物性残さ



乾燥機



リボンミキサー



フレコン詰め作業

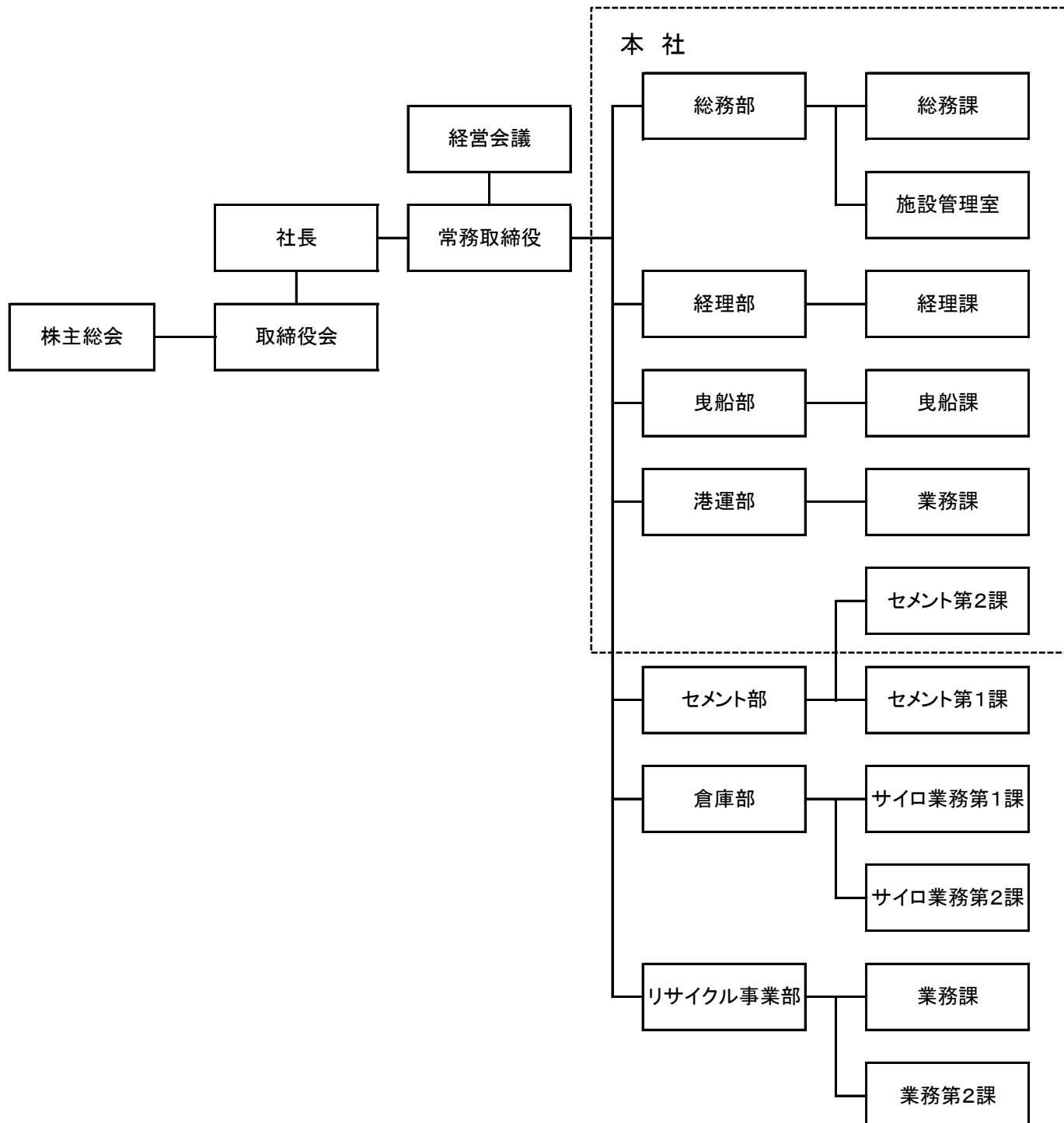


ペレタイザー

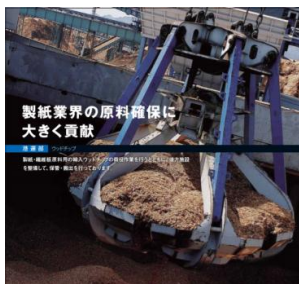
※ ペレット化は、製品の付加価値を高めるために、一部の製品を加工するものです。

□ 組織図

2024年4月1日現在



□ 主な業務紹介



港運部

製紙・繊維板原料用の輸入ウッドチップの荷役作業を行うとともに、後方施設を利用し、保管・搬出を行っております。

・荷役作業：本船に積み込まれているウッドチップをアンローダーとベルトコンベヤーを使用し、後方ヤードに搬入します。

・搬出作業：ショベルローダーとトラック専用積み込みコンベヤーを使用し、トラックにウッドチップを積み込みます。



倉庫部

海外から輸入される穀物を効率的に捌く物流基地としての機能を最大限に発揮し、静岡・山梨・長野を中心とした製粉・食品・飼料工場に安全で安定した原料の供給を行っております。

取扱貨物：とうもろこし・麦類・その他の穀物



曳船部

弊社のタグボートは、駿河湾一円において営業活動を行っており、共有船を含め、清水港に4隻、田子の浦港、御前崎港に各1隻を配備し、24時間フルオープン of 港に対応しております。

・社有船 天城丸/富嶽丸/宝永丸/清見丸(田子の浦港駐在)

・共有船：興津丸/駿河丸(御前崎港駐在)



セメント部

海上輸送されたセメントを、24時間自動出荷体制のサービスステーションより、県内外に安定供給しております。

・UBE三菱セメント サービスステーション

・住友大阪セメント サービスステーション

取扱貨物：普通ポルトランドセメント・高炉セメントB種・セメント系固化材



リサイクル事業部

時代が要請する資源循環型社会の構築に向けて、埋め立てや焼却等により処分されている木屑及び植物性残さを再利用するための施設を運用しております。

破碎品目：貨物の梱包材・家屋の解体材

乾燥品目：(例)緑茶かす

清水埠頭株式会社

会社方針

時代の流れを的確につかみ、お客様のニーズに応える。
安心・安全を基本理念に立ち止まらないで前に進む。

環境経営方針

<環境理念>

私たちは、ますます深刻化する地球温暖化や、今後予想される地下資源の枯渇への対応が人類共通の重要課題との認識に立ち、第三セクターとして、港湾運送事業・倉庫サイロ業・セメントSS業・曳船業・リサイクル事業を通じ、港のもつ機能の一翼を担い、清水港の発展、地域社会の振興に貢献します。

さらには地球環境を守り、環境負荷の低減を図るために、全社一丸となって自主的・積極的に環境保全活動に取り組みます。

<環境保全への行動指針>

1. 二酸化炭素、廃棄物排出量、水資源使用量の低減、及び、PRTR法に指定される化学物質使用量の把握と適正使用管理の徹底に努めます。
2. リサイクル事業において、廃木材及び動植物性残さのマテリアルリサイクル向上に努めます。
3. 設備の計画的なメンテナンスのもと、常に安全な作業を心掛け事故ゼロを目指します。
4. 取扱い貨物により発生する荷粉等の廃棄物の削減及び、再資源化に努めます。
5. 活気のある職場環境を構築し、職員の知識や技術の向上に努めます。
6. 環境への配慮を常に念頭に置き、新たな貨物の開拓を目指します。
7. 環境影響を考慮した資機材、オフィス用品等のグリーン購入に努めます。
8. 環境経営を継続的に改善し、ステップアップに努めます。
9. 環境関連法規制や当社の事業に係る法令を遵守します。
10. 地域における環境活動への積極的な参加を行います。
11. 環境方針を社内に掲示し全社員に周知するとともに、環境への取り組みを環境活動レポートとして取りまとめ、一般に公表します。

制定：2009年 7月24日

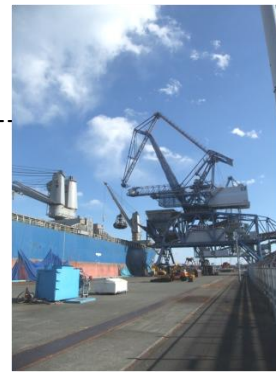
改定：2016年 3月 1日

改定：2021年 4月 1日

清水埠頭株式会社
代表取締役 鈴木健一郎

□ 環境経営中長期目標

— 各部の目標 —



<省エネルギーの推進>

■二酸化炭素、廃棄物排出量、水資源使用量の低減

- ・港運部・照明設備をすべてLED化、照明設備の設置個所の見直し
- ・港運部・重機車両の必要台数の見直し、燃料使用量の削減
- ・倉庫部・各サイロ施設の照明設備をLED化 / ガソリン、軽油及び電気使用量の削減
- ・総務部・設備の計画的な更新
- ・曳船部・燃料使用量の削減(燃費の改善)
- ・リサイクル事業部・ガソリン、軽油及び電気使用量の削減

■廃棄物の削減

- ・倉庫部・穀物ダストの処分量の削減(肥料として再利用)。
- ・倉庫部・取り換えたコンベアベルトを有価処理せずに再利用する。
- ・港運部・廃棄物(チップダスト)再利用化の検討を行った。
- ・総務部・裏紙の使用及びスキナーの活用

■活気のある職場環境の構築及び職員の知識・技術の向上

- ・港運部・荷役作業における人材の定着化 / 2班体制の確保 / 経営数字に対する理解向上。
- ・セメント部・業務の効率化 / 夏場の作業環境の改善 / 伝票発行ミスの削減
- ・経理部・部内ミーティングによる情報の共有及びコミュニケーションの活性化
業務のローテーションによる職員のスキルアップ / 社内研修の立案・実施
- ・総務部・オンライン会議の推進

■取扱い貨物等により発生する廃棄物の削減及び再資源化

- ・港運部・廃棄物(チップダスト)再利用化の検討
- ・倉庫部・廃棄物の削減及び再資源化(廃材、ダストの再利用)

■環境への配慮を念頭に置いた、新たな貨物の開拓

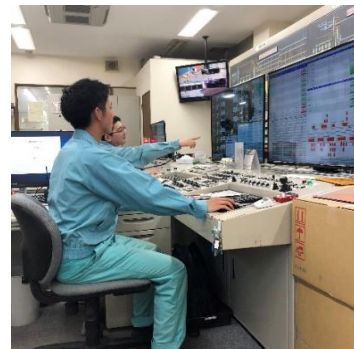
- ・港運部・新規検討商材に対する情報の共有化

■リサイクル事業におけるマテリアルリサイクルの向上

- ・リサイクル事業部・マテリアルリサイクル率の維持及び向上(目標43%)

■設備を計画的にメンテナンスし、安全な作業による事故ゼロ

- ・港運部・車両故障による不稼働時間の削減 / 設備の計画的な更新 / 安全作業を行うための設備改善
- ・倉庫部・設備の計画的な更新



□ 2024年度活動目標

項 目		年 度	2022年度 (4～3月)	2024年度 (4～3月)
			基準年度	目標 (基準年度比)
二酸化炭素排出量削減 <電力>	kg-CO ₂		1,627,856	1,611,577 (99%)
<ガソリン>	kg-CO ₂		9,739	9,642 (99%)
<LPG> (2019年度を基準年度とする)	kg-CO ₂		118,619	117,433 (99%)
<軽油燃料>	kg-CO ₂		365,412	361,758 (99%)
<重油燃料>	kg-CO ₂		1,598,600	1,582,614 (99%)
二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂		3,584,054	3,565,591
一般廃棄物の削減	kg/年		8,790	8,702 (99%)
マテリアルリサイクル率の維持継続	%/年		43%	43% (100%)
節水	m ³ /年		16,352	16,188 (99%)
特定化学物質の適正使用			適正に使用	適正に使用
環境活動参加			参加	参加
グリーン購入			エコマーク製品があるものは購入	エコマーク製品があるものは購入

※特定化学物質は穀物の燻蒸に使用するため、使用量の削減を目標とすることはできない。

□ 中長期活動目標(2024年度～)

年 度		2022年度 (4～3月)	2024年度 (4～3月)	2025年度 (4～3月)	2026年度 (4～3月)	2027年度 (4～3月)	2028年度 (4～3月)
		基準年度	目標	目標	目標	目標	目標
項 目			基準年度比	基準年度比	基準年度比	基準年度比	基準年度比
二酸化炭素排出量削減 <電力>	kg-CO ₂	1,627,856	1,611,577	1,611,577	1,611,577	1,611,577	1,611,577
			99%	99%	99%	99%	99%
<ガソリン>	kg-CO ₂	7,156	7,084	7,084	7,084	7,084	7,084
			99%	99%	99%	99%	99%
<LPG>	kg-CO ₂	269,349	266,656	266,656	266,656	266,656	266,656
			99%	99%	99%	99%	99%
<軽油燃料>	kg-CO ₂	352,674	349,147	349,147	349,147	349,147	349,147
			99%	99%	99%	99%	99%
<重油燃料>	kg-CO ₂	1,470,121	1,455,420	1,455,420	1,455,420	1,455,420	1,455,420
			99%	99%	99%	99%	99%
二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	3,727,156	3,689,884	3,548,213	3,548,213	3,548,213	3,548,213
一般廃棄物の削減	kg/年	8,790	8,702	8,702	8,702	8,702	8,702
			99%	99%	99%	99%	99%
マテリアルリサイクル率の維持継続	% /年	43	43%	43%	43%	43%	43%
			100%	100%	100%	100%	100%
節水	m ³ /年	16,352	16,188	16,188	16,188	16,188	16,188
			99%	99%	99%	99%	99%
環境活動参加		参加	参加	参加	参加	参加	参加
グリーン購入	件	エコマーク製品 があるものは購 入	エコマーク製品 があるものは購 入	エコマーク製品 があるものは購 入	エコマーク製品 があるものは購 入	エコマーク製品 があるものは購 入	エコマーク製品 があるものは購 入

※使用する購入電力の二酸化炭素係数(kg-CO₂/kWh) 0.482

□ 環境活動計画の取組結果・評価、次年度の取り組み内容

活動目標	計画項目(全社共通)	達成率/ 評価ランク	評価	次年度の取り組み
電力の削減	使用しない場所の消灯	100% /A	職員に意識が浸透している。	継続的な取り組み実施
電力の削減	クール/ウォームヒズ運動 (冷暖房控えめ使用)	100% /A	作業効率に良い室温を調査し、設 基準温度を設定した(夏期:26℃、 冬期:24℃)	基準としている冷暖房時の室 温を順守しつつ、作業環境に応 じた最適温度を検討する。
電力の削減	省エネタイプの機器への更新	95% /A	各部現場のLED化を着実に進め ている。	継続的な取り組み実施
電力の削減	電気、空調機器の点検保守	100% /A	冷暖房使用前に業者による点検・ フィルター交換・送風口の清掃を 実施。	継続的な取り組み実施
ガソリン 軽油 の削減	車両のアイドリングストップ、 急発進・急加速の防止	95% /A	意識は浸透している。	継続的な取り組み実施
一般廃棄物 の削減	プリンタのミスコピーの防止、 裏紙・両面印刷	95% /A	裏紙の使用、両面印刷の活用、 保存文書の電子化、FAXデータの 電子保存化等の取り組みを強化 した。	実施出来ていない社員の意識 改革、電子化の推進を強化
一般廃棄物 の削減	分別による古紙のリサイクル化	95% /A	古紙のリサイクル化は意識が浸 透している。	継続的な取り組み実施
一般廃棄物 の削減	マイ箸、マイカップ運動の推進	95% /A	マイ箸・マイカップを推奨している。 宅配弁当業者に割り箸は不要で あることを伝えている。	継続的な取り組み実施
節水	手洗い、トイレ、食器洗い時の節水	100% /A	職員に意識が浸透し、上水の使 用量が前年よりも減少した。	継続的な取り組み実施
マテリアルリサイクル 率	マテリアルリサイクル率の維持継続 (リサイクル事業部)	100% /A	職員に意識が浸透しており、積極 的な取り組みが実施できている。 高水準のマテリアルリサイクル率 を維持した。	目標数値(43%)の維持継続
特定化学物質 の適正使用	安全性を確保し、適正使用を図 る。	100% /A	取り扱う特定化学物質について、 法令等に基づき、適正に使用し た。	適正な使用を継続する。
<p>総合評価</p> <p>全体として各部の取組は順調に行っている。ガソリン削減については年数や走行距離に応じて適正に 車両の買替えを実施していく。FAXデータの電子保存については実現に向けて検討していく。</p>				

評価ランク基準

A=90%以上

B=70%以上89%以下

C=69%以下

□ 環境目標と結果

項目	年度	2022年度 (4~3月)	2024年度 (4~3月)	
		基準年度	目標 (基準年度比)	結果 (基準年度比)
二酸化炭素排出量削減 <電力>	kg-CO ₂	1,627,856	1,611,577 (99%)	1,608,596 (99%)
<ガソリン>	kg-CO ₂	7,156	7,084 (99%)	9,180 (128%)
<LPG>	kg-CO ₂	269,349	266,656 (99%)	141,226 (52%)
<軽油燃料>	kg-CO ₂	352,674	349,147 (99%)	267,727 (76%)
<重油燃料>	kg-CO ₂	1,470,121	1,455,420 (99%)	1,333,049 (91%)
二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	3,727,156	3,423,229	3,359,778 (90%)
一般廃棄物の削減	kg/年	8,790	8,702 (99%)	8,010 (91%)
マテリアルリサイクル率の維持継続	%/年	43%	43% (100%)	49% (114%)
節水	m ³ /年	16,352	16,188 (99%)	9,731 (60%)
特定化学物質の適正使用		適正使用	適正使用	適正使用
環境活動参加		参加	参加	参加
グリーン購入	件	エコマーク製品があるもの を購入	エコマーク製品がある ものを購入	エコマーク製品がある ものを購入
<p>総合評価</p> <p>全体的には目標達成できている。ガソリンは達成できなかった。原因は、近場への車移動が増えた為である。</p> <p>マテリアルリサイクル率を向上させるためには細かい作業が増えてしまうが、限られた時間内で仕分けの工夫と顧客への仕分け持込依頼の浸透が進んできたものと思われる。</p>				

※使用する購入電力の二酸化炭素係数(kg-CO₂/kWh)0.482

□ 四半期ごとの環境目標及びその実績①

項目	部門	期毎累計	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
電力 二酸化炭素排出量 (kg-CO2)	全社	基準年度	403,156	418,421	422,396	383,882
		累計	403,156	821,578	1,243,974	1,627,856
		目標(1%減)	399,125	414,238	418,173	380,044
		累計	399,125	813,363	1,231,536	1,611,580
		2024年度	409,964	375,998	418,964	403,671
		累計	409,964	785,962	1,204,926	1,608,596
		判定	×	◎	×	×
		評価 原因 是正	第2四半期のみ目標達成 荷役状況により、電力の使用量は異なってしまう。 引き続き、省エネを意識した荷役をする。			
ガソリン 二酸化炭素排出量 (kg-CO2)	全社	基準年度	1,642	1,728	2,078	1,708
		累計	1,642	3,370	5,448	7,156
		目標(1%減)	1,626	1,711	2,058	1,691
		累計	1,626	3,337	5,395	7,086
		2024年度	2,270	2,695	2,415	1,801
		累計	2,270	4,965	7,380	9,180
		判定	×	×	×	×
		評価 原因 是正	目標達成期なし エコドライブの徹底 引き続き、アイドリングストップ [®] 及びエコドライブ [®] を推進する。			
LPG 二酸化炭素排出量 (kg-CO2)	リサイク ル事業部	基準年度	73,011	75,626	71,411	49,301
		累計	73,011	148,637	220,048	269,349
		目標(1%減)	72,282	74,870	70,698	48,808
		累計	72,282	147,152	217,850	266,658
		2024年度	24,195	50,751	39,621	26,659
		累計	24,195	74,946	114,567	141,226
		判定	◎	◎	◎	◎
		評価 原因 是正	目標達成 乾燥状況及び時間を細かくチェックした。 引き続き、燃費の良い使用を行う。			
軽油 二酸化炭素排出量 (kg-CO2)	港運部 倉庫部 セメント 部 リサイク ル事業部	基準年度	95,045	87,403	92,927	77,300
		累計	95,045	182,447	275,374	352,674
		目標(1%減)	94,095	86,529	91,998	76,527
		累計	94,095	180,624	272,622	349,149
		2024年度	67,359	76,376	60,292	63,664
		累計	67,359	143,771	204,063	267,727
		判定	◎	◎	◎	◎
		評価 原因 是正	目標達成 アイドリングストップ [®] を心掛けた。 引き続き燃費の良い軽油利用を行う。			
重油 二酸化炭素排出量 (kg-CO2)	港運部 倉庫部 セメント 部 リサイク ル事業部 本社(曳 船管理)	基準年度	361,080	343,465	355,769	409,806
		累計	361,080	704,546	1,060,315	1,470,121
		目標(1%減)	357,470	340,031	352,212	405,708
		累計	357,470	697,501	1,049,713	1,455,421
		2024年度	331,677	330,159	356,690	314,523
		累計	331,677	661,836	1,018,526	1,333,049
		判定	◎	◎	×	◎
		評価 原因 是正	第1第2第4四半期のみ目標達成 タグボートの効率の良い手配を心掛けた。 引き続き燃費の良い重油利用を行う。			
二酸化炭素総排出量	港運部 倉庫部 セメント 部 リサイク ル事業部 本社(曳 船管理)	基準年度	933,935	926,643	944,581	921,997
		累計	933,935	1,860,578	2,805,159	3,727,156
		目標(1%減)	924,596	917,377	935,136	912,778
		累計	924,596	1,841,973	2,777,109	3,689,887
		2024年度	835,500	835,979	877,983	810,317
		累計	835,500	1,671,479	2,549,462	3,359,779
		判定	◎	◎	◎	◎
		評価 原因 是正				

基準年度…2022年度

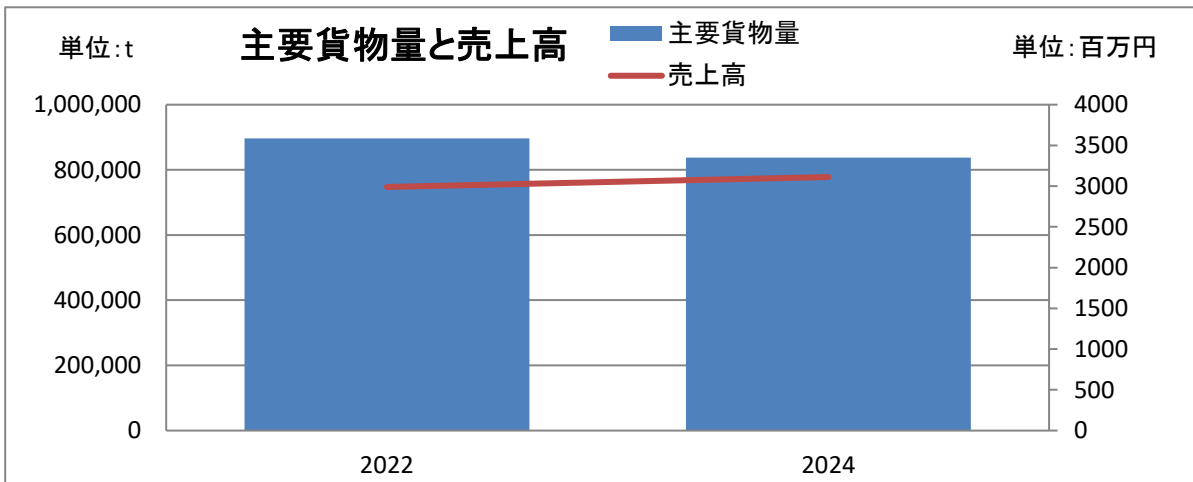
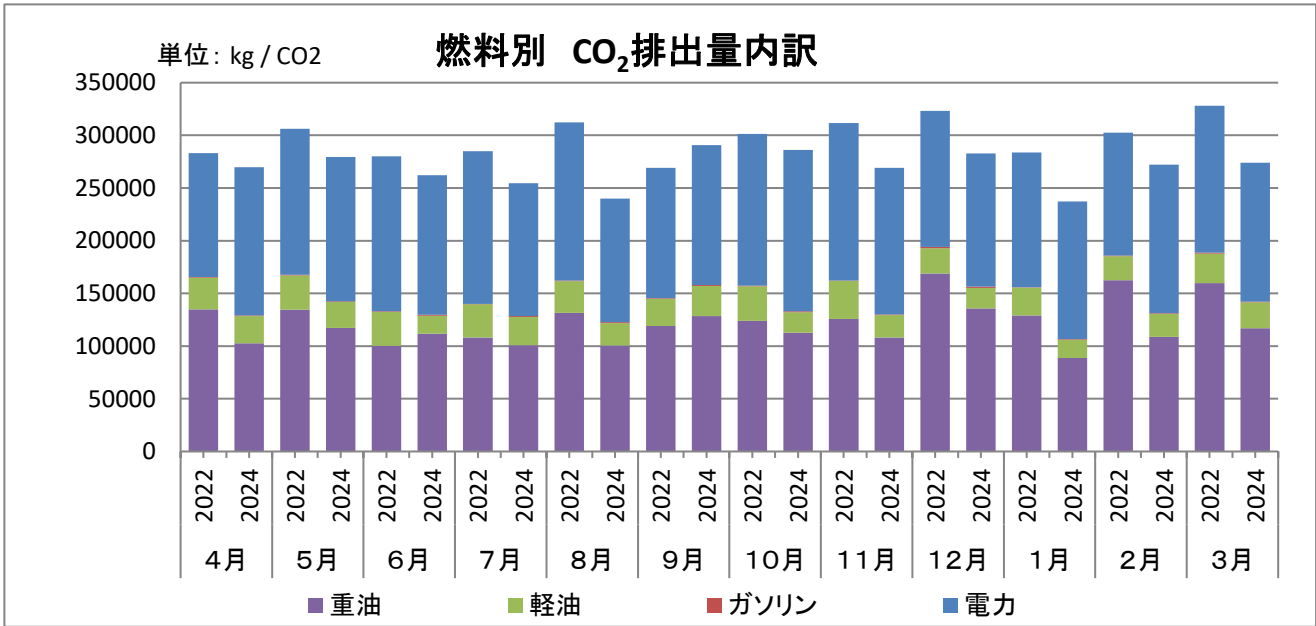
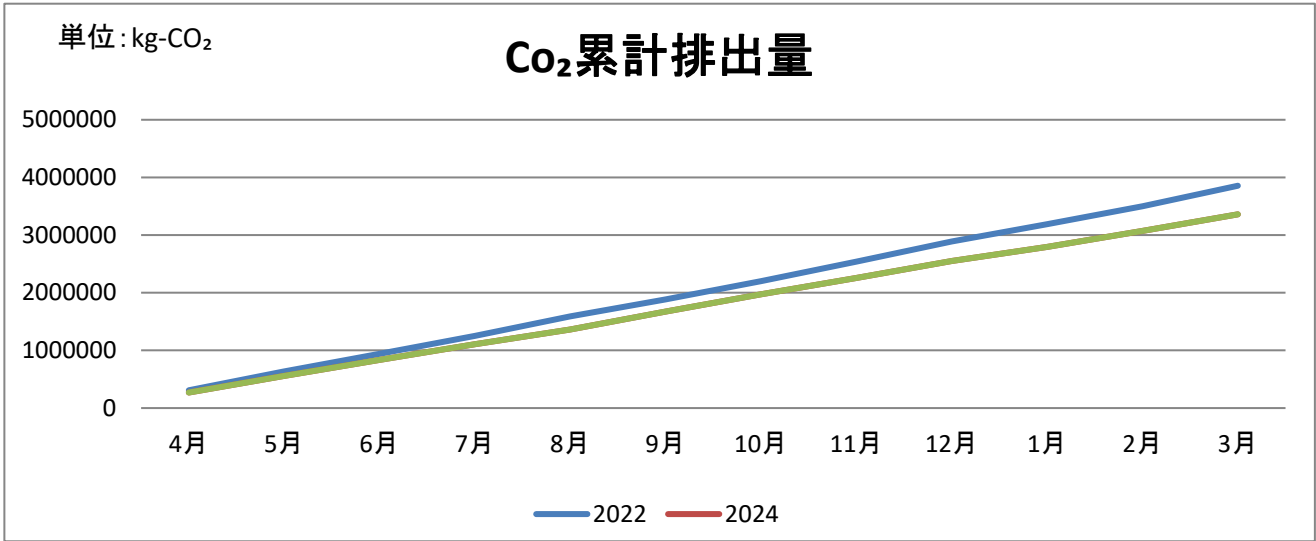
□ 四半期ごとの環境目標及びその実績②

項目	部門	期毎累計	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
一般廃棄物の削減 (kg)	全社	基準年度	2,390	1,990	2,350	2,060
		累計	2,390	4,380	6,730	8,790
		目標(1%減)	2,367	1,971	2,327	2,040
		累計	2,367	4,338	6,665	8,705
		2024年度	2,300	2,350	1,840	1,520
		累計	2,300	4,650	6,490	8,010
		判定	◎	×	◎	◎
		評価 原因 是正	第1第3第4四半期のみ目標達成 ゴミ分別の徹底。 引き続き、マイカップ・マイ箸の使用、裏紙の使用、スキャナーの活用、廃棄書類のリサイクルに努める。			
マテリアルリサイクル率 の維持継続 (%)	リサイクル 事業部	基準年度	52%	53%	54%	54%
		平均	52%	53%	53%	53%
		目標(43%)	43%	43%	43%	43%
		平均	43%	43%	43%	43%
		2024年度	48%	51%	51%	52%
		今年度平均	48%	49%	50%	50%
		判定	◎	◎	◎	◎
		評価 原因 是正	目標達成 仕分けを丁寧に行った。 引き続き、仕分けを丁寧に行う。			
節水	全社	基準年度	4,400	4,725	4,430	2,797
		累計	4,400	9,125	13,555	16,352
		目標(1%減)	4,356	4,678	4,386	2,770
		累計	4,356	9,034	13,420	16,190
		2024年度	2,698	2,409	2,239	2,385
		累計	2,698	5,107	7,346	9,731
		判定	◎	◎	◎	◎
		評価 原因 是正	目標達成 工業用水の使用量は、天候・貨物に左右される。 節水を心掛ける。			

※評価 ◎:目標達成 △:目標は達成できなかったが、削減できた ×:目標未達成
※使用する購入電力の二酸化炭素係数0.482(kg-CO₂/kWh)

CO₂排出量と評価

CO₂排出量は基準年度より減少しました。引き続き、全社員で低燃費運転を心掛けていきます。



電力

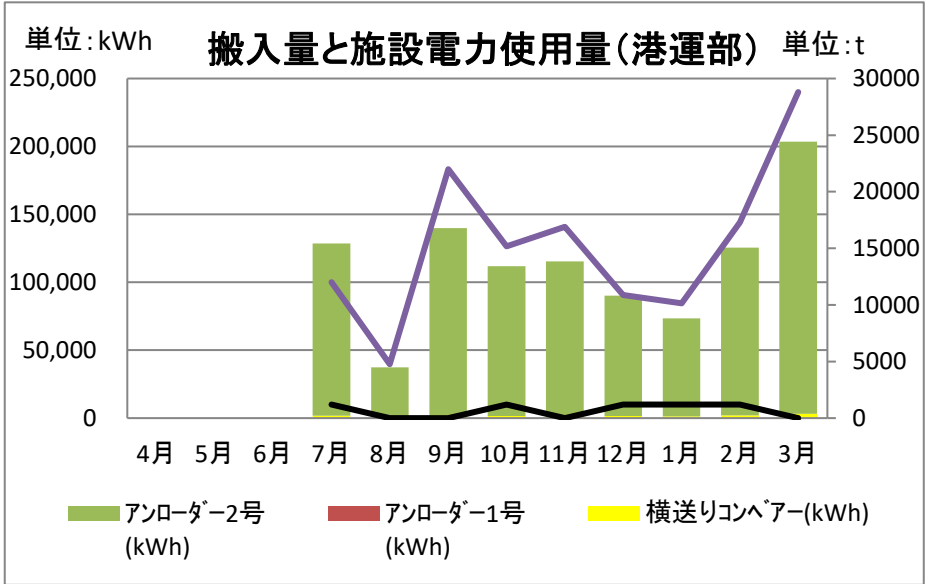
港運部

大型船での搬入は、作業をまとめて行えるため、使用電力量を抑えることができます。一方、小型船の場合は、小分け作業が多いため、電力使用の効率が悪化する傾向があります。

アンローダ1号機は更新工事中です。

搬入トン数あたりの電力量 単位:kWh/t

	2024	2022
横送りコンベア	0.11	0.13
アンローダ-1号	-----	-----
アンローダ-2号	7.02	0.62

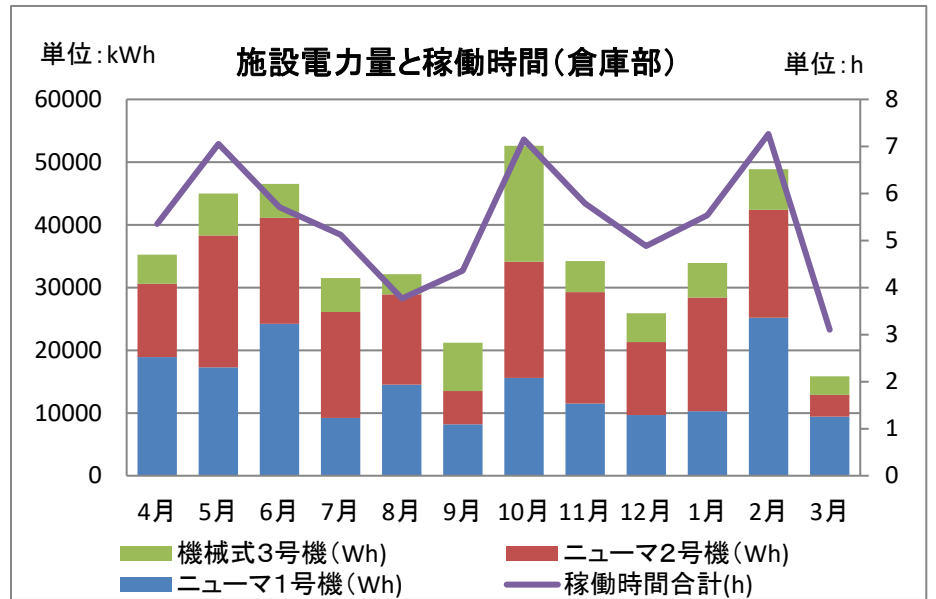


倉庫部

今年度は、電力使用量は搬入量に連動した動きとなりました。また、1時間以上の稼働がなければ、機械の運転を止める等、無駄な「空運転」をなくすよう心がけました。

稼働時間あたりの電力量 単位:kWh/t

	2024	2022
ニューマ1号機(kWh/h)	294.58	261.86
ニューマ2号機(kWh/h)	296.08	327.63
機械式3号機(kWh/h)	182.81	137.54



セメント部

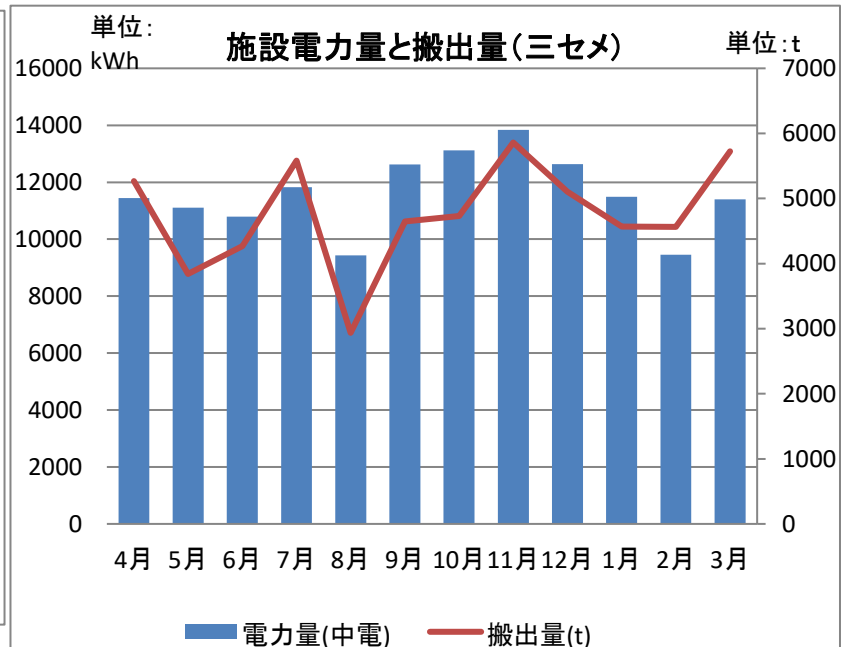
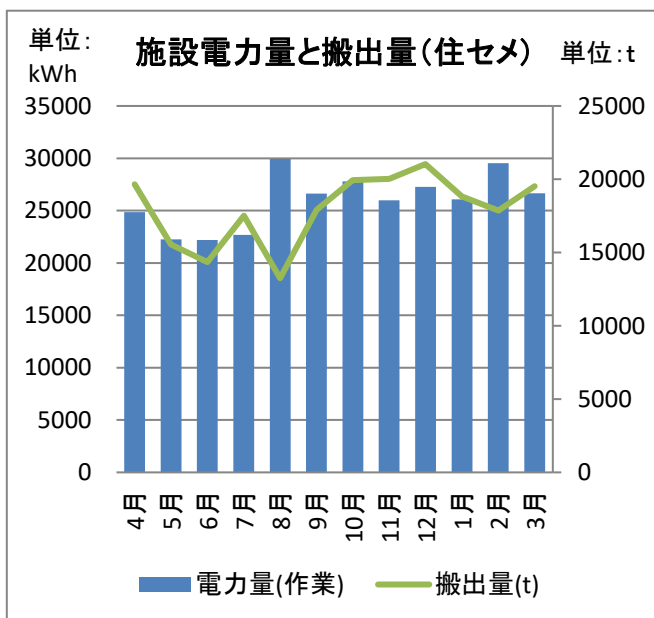
セメント1課は搬出時にのみ電力を使用します。一方、セメント2課では、2019年11月に圧送管を導入し、搬入時には電力を使用しなくなったため、基準年度よりも消費電力が減少しました。

搬出トン数あたりの電力量 単位:kWh/t

	2024	2022
セメント1課	1.45	1.29

搬入出トン数あたりの電力量 単位:kWh/t

	2024	2022
セメント2課	2.44	2.12

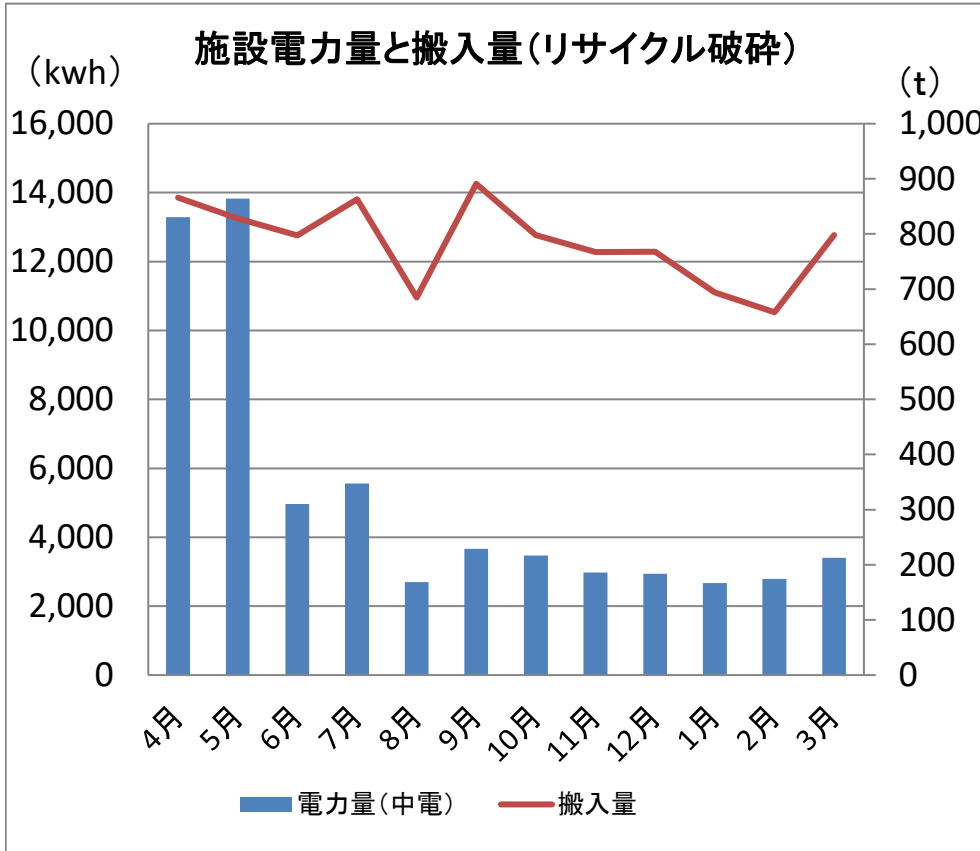


リサイクル事業部

破碎は搬入量と電力量がほぼ比例しています。乾燥は8月以降事業が停止していたため、搬入量と比例していません。

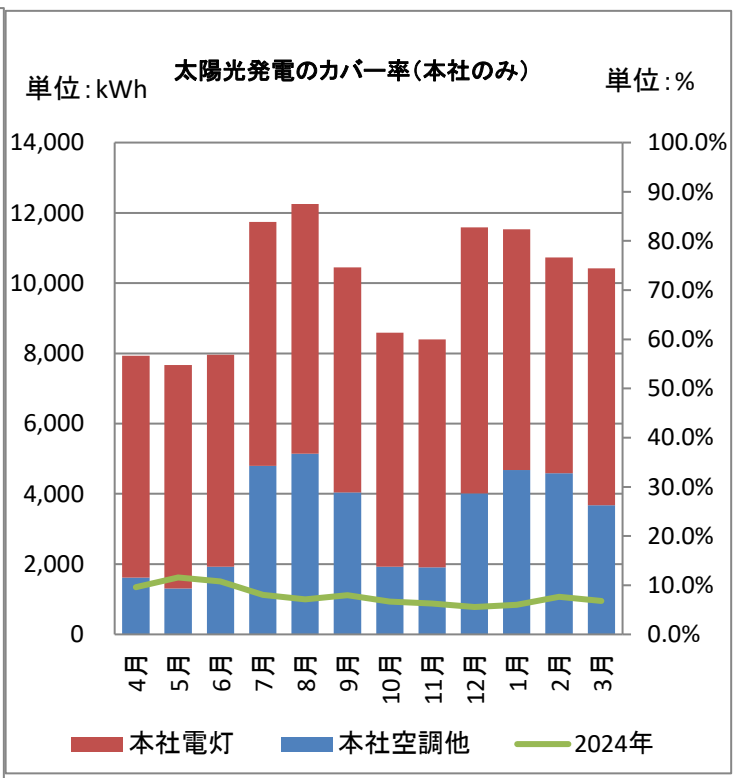
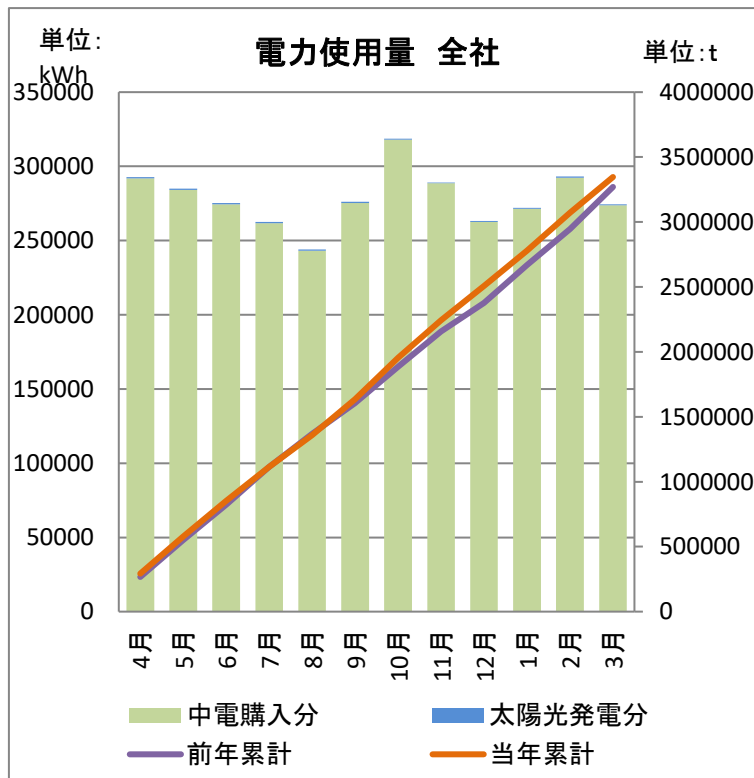
リサイクル破碎	単位:kWh/t	
	2024	2022
	16.50	15.13

リサイクル乾燥	搬入出トン数あたりの電力量 単位:kWh/t	
	2024	2022
	62.94	41.24



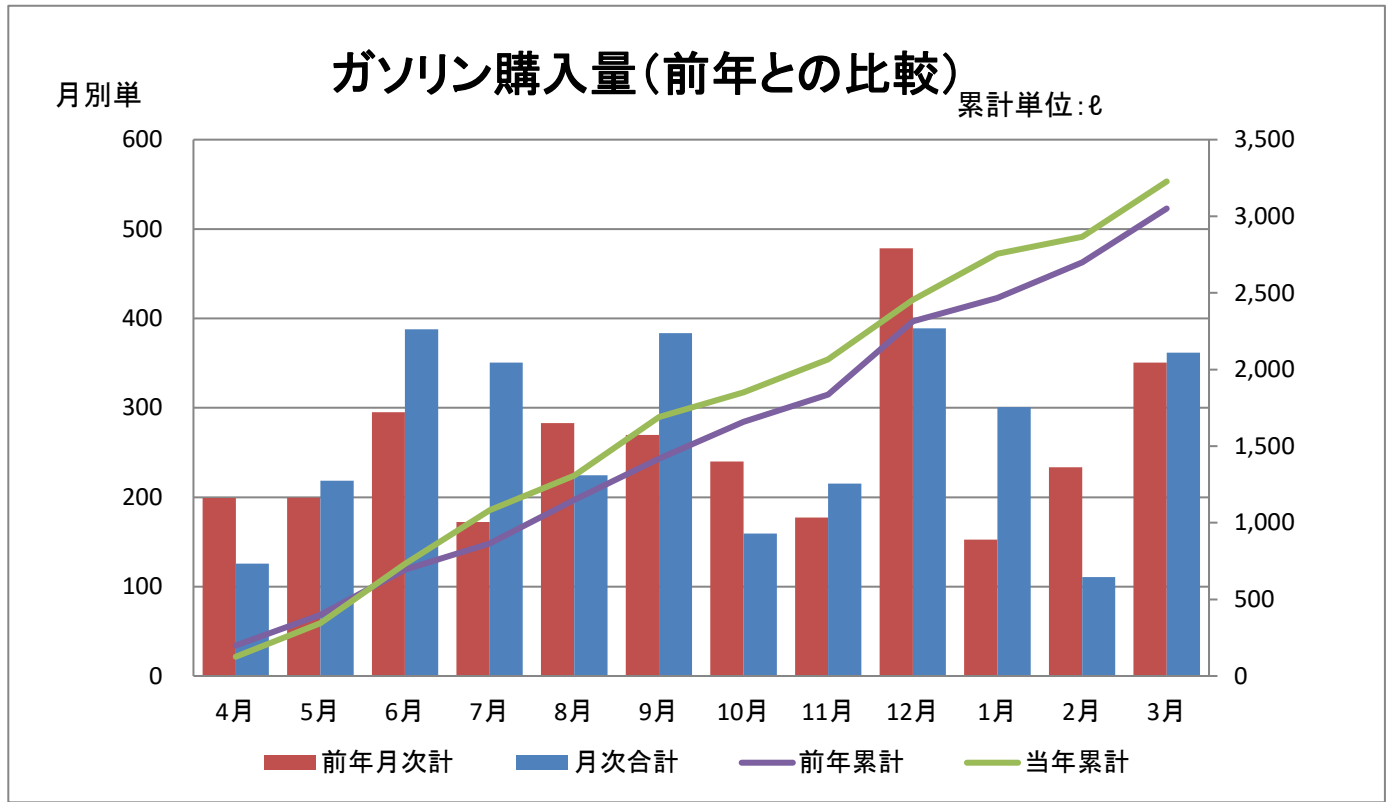
全体

春・秋の期間は空調利用が少ないため、電力の使用を抑えられています。冷暖房利用の影響から、夏・冬の期間は電力の使用が多い傾向にあるため、必然的に太陽光のカバー率も下がります。



ガソリン

ガソリンは主に社有車の燃料として使用しています。
 日常的に運行記録の記入、アイドリングストップの徹底を行い、燃費効率のよい使用を心がけています。



前年との比較(比較対象社用車のみ)

	2022年度	2024年度
走行距離(km)	28,366	26,913
給油量(ℓ)	1,762	1,830
燃費(km/ℓ)	13.51	12.48

昨年度と比較し、給油量が増加し、燃費は悪化しました。
 燃費悪化の要因は、得意先回りなど、近場での走行が多かったためと考えられます。

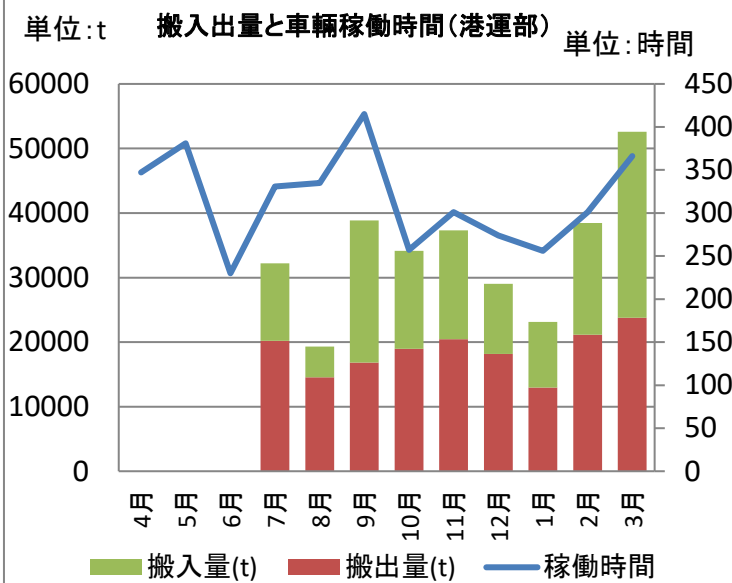
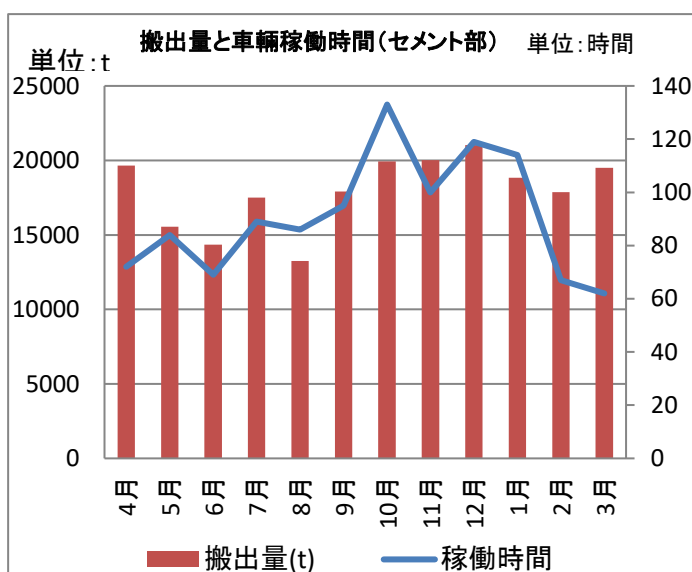
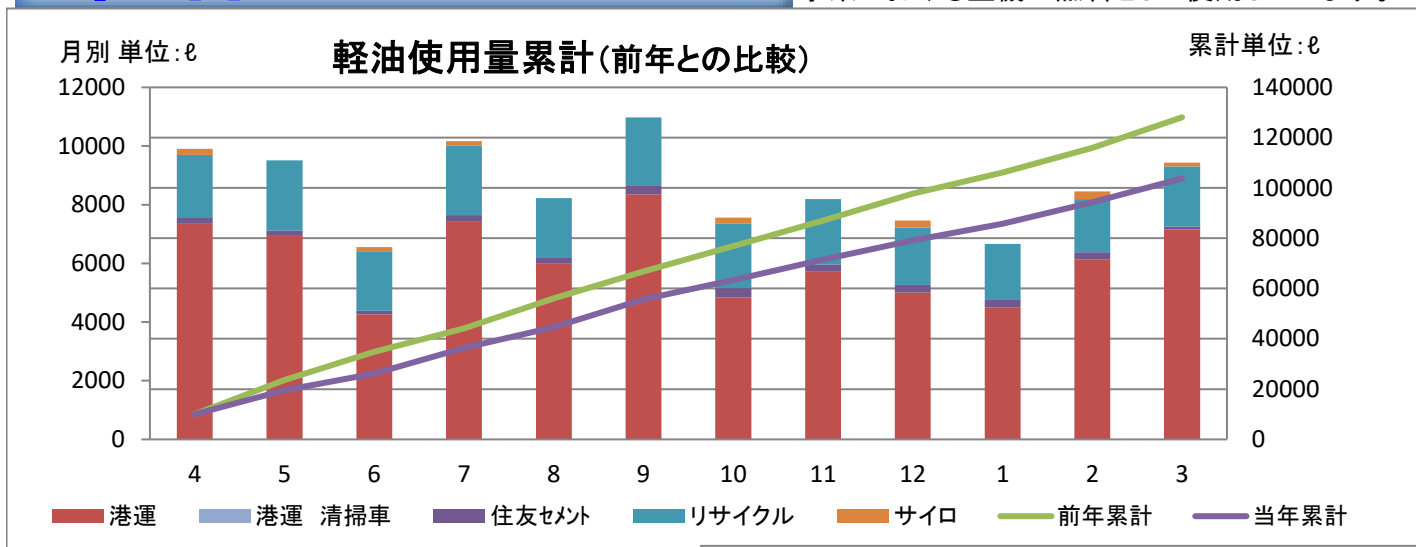
社有車別燃費比較 (km/ℓ)

部署	2022年度	2024年度	燃費変化	
倉庫部	12.47	10.15	燃費DOWN ↓	
セメント部	8.93	9.20	燃費UP ↑	
本社	プリウス①	24.11	19.84	燃費DOWN ↓
	フリード②	18.09	19.47	燃費UP ↑
	カローラ	22.31	21.18	燃費DOWN ↓
	ムーブ①	15.79	16.11	燃費UP ↑
	ムーブ②	14.16	13.99	燃費DOWN ↓

引き続き、アイドリングストップや急加速・急発進の防止を徹底していきます。

軽油

軽油は主に、ウッドチップ・セメントの出荷、リサイクル事業における重機の燃料として使用しています。

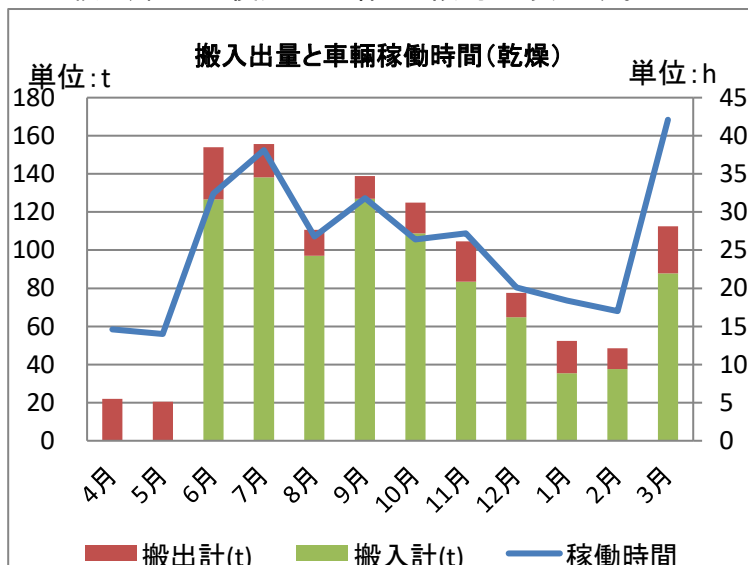


セメント部	年度	搬出量/軽油使用量
	2022	73.80 t/ℓ
	2024	83.59 t/ℓ

フレコンセメントの搬出が多い月は、全体の搬出量に比較し、軽油の使用量が増える傾向にあります。

港運部	年度	搬入出量/軽油使用量
	2022	5.73 t/ℓ
	2024	4.15 t/ℓ

今年度も重機のアイドルストップを徹底し、燃費が良くなりました。



倉庫部	年度	搬出量/軽油使用量
	2022	1.24 t/ℓ
	2023	0.54 t/ℓ

搬出作業以外の使用(カビチェックや岸壁での作業)が増加したため、搬出量に対しての軽油使用量は比例していませんでした。

リサイクル事業部 (破碎)	年度	搬入出量/軽油使用
	2022	0.67 t/ℓ
	2024	0.74 t/ℓ

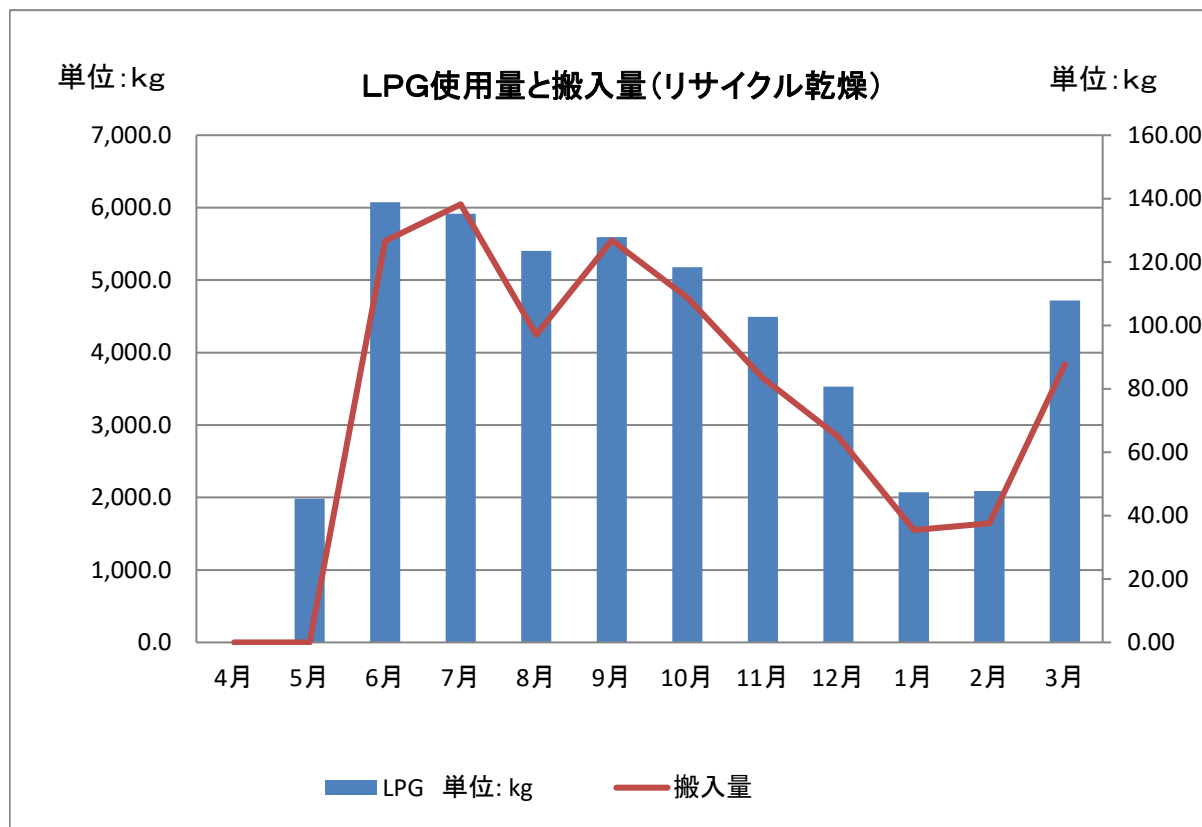
仕分け作業が増加しましたが、搬入出量に対しての軽油使用量は比例しています。

リサイクル事業部 (乾燥)	年度	搬入出量/軽油使用量
	2022	2.41 t/ℓ
	2024	2.25 t/ℓ

4月、5月は一時停止に伴い、貨物の搬入がなくなったため、搬入出量とは比例していません。

LPG

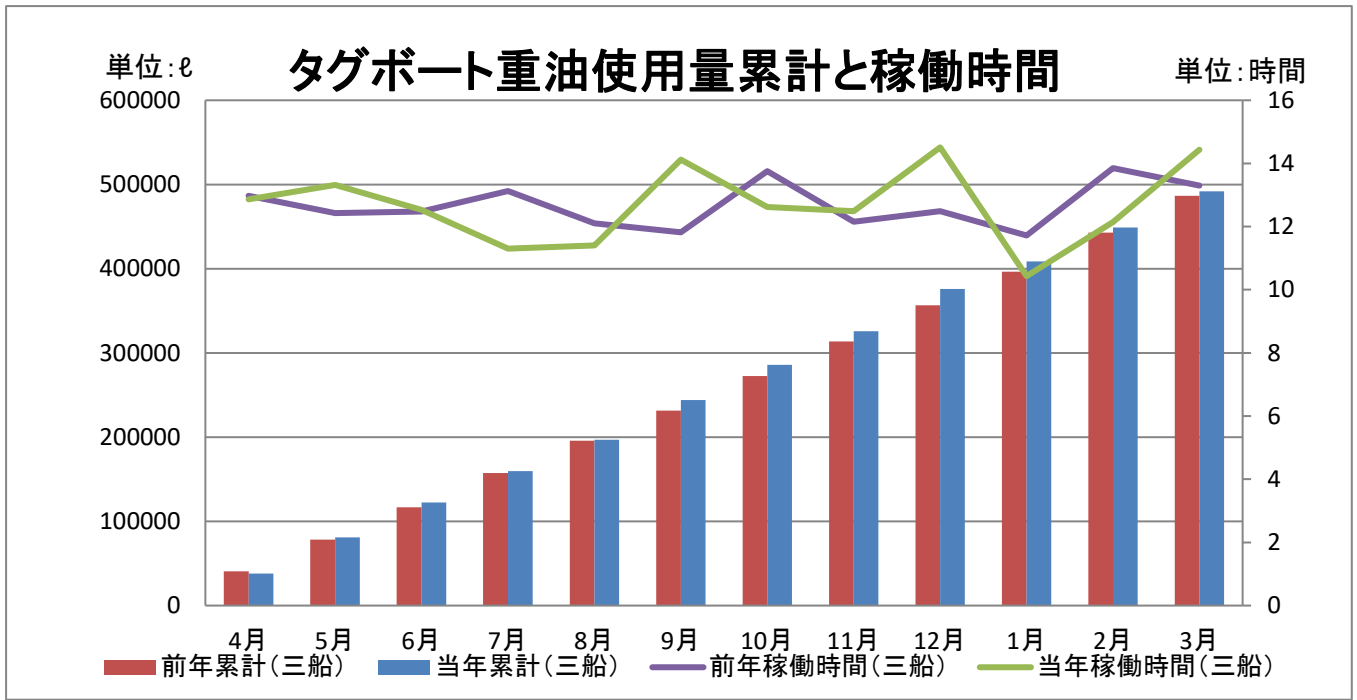
LPGは、リサイクル事業における乾燥機の燃料として使用しています。



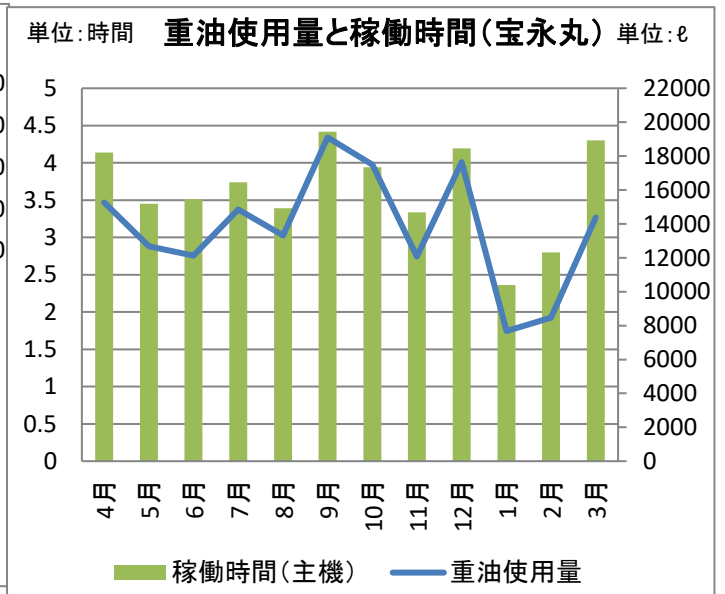
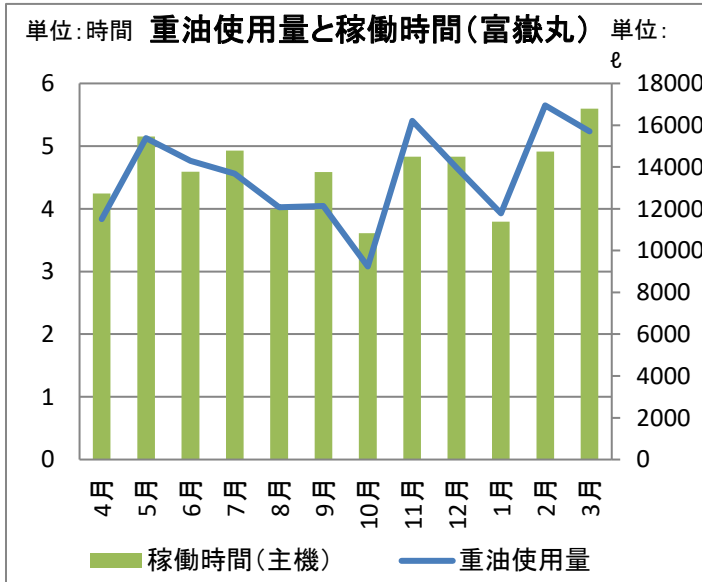
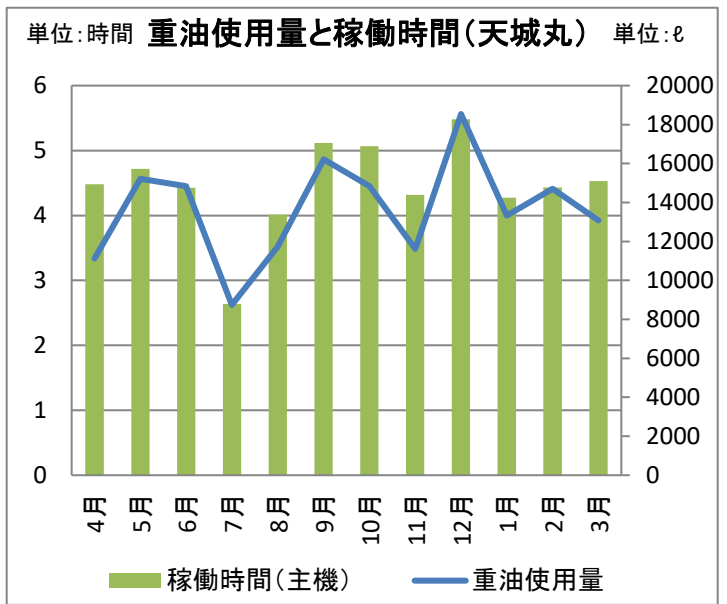
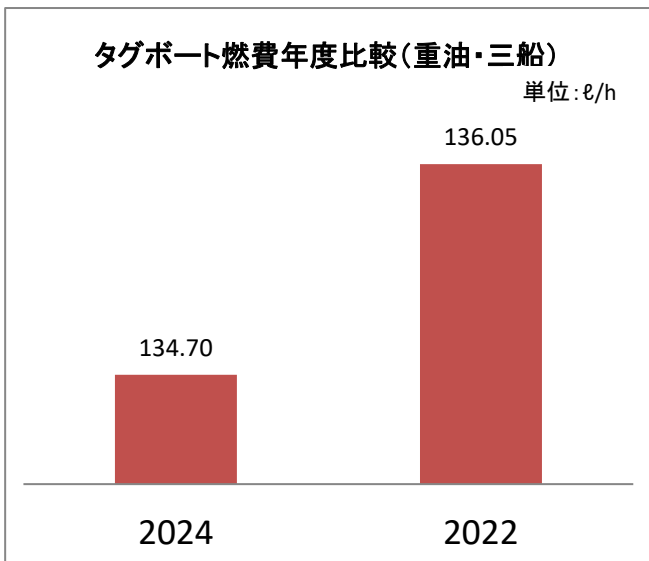
リサイクル事業部 乾燥事業	年度	LPG/搬入量使用量
	2022	52.06kg/t
	2024	51.94kg/t

水分の多い貨物は、乾燥させるのに時間がかかるため、入庫する貨物の状態によって使用量が変化します。

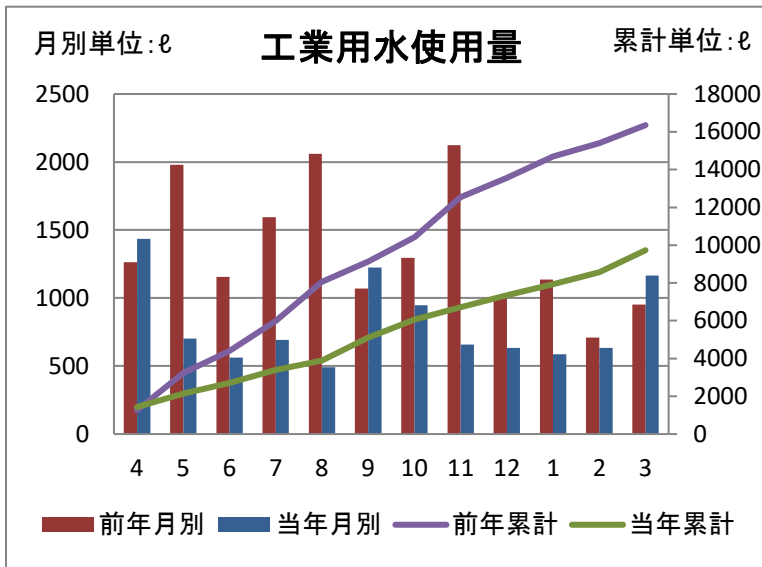
重油 (タグボート)



今年度は、稼働時間に比べて重油の使用量が減少しました。
作業内容により重油使用量を減らすのは難しい部分もありますが、船員にエコ運転を呼び掛けています。
他港での作業が多いと重油の使用量が増える傾向です。

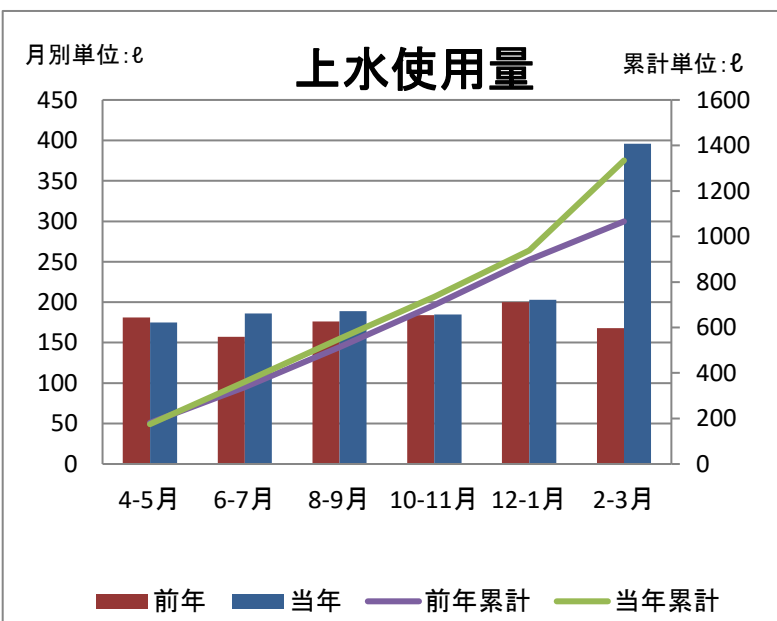
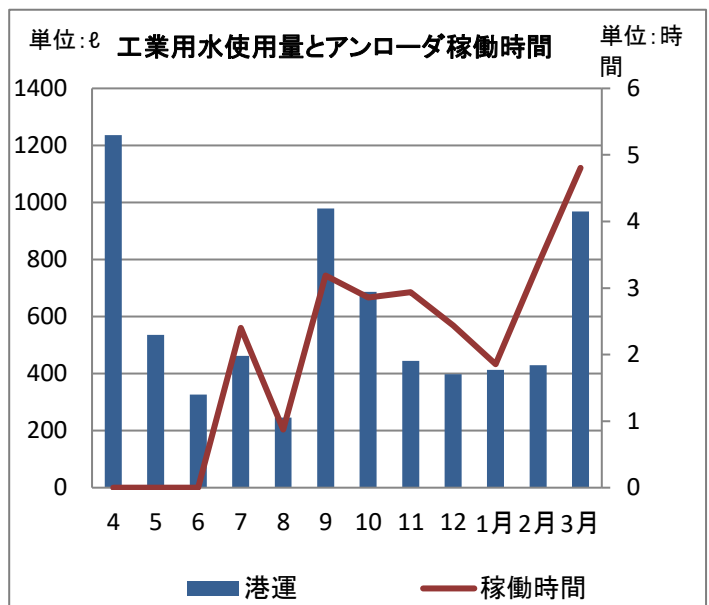
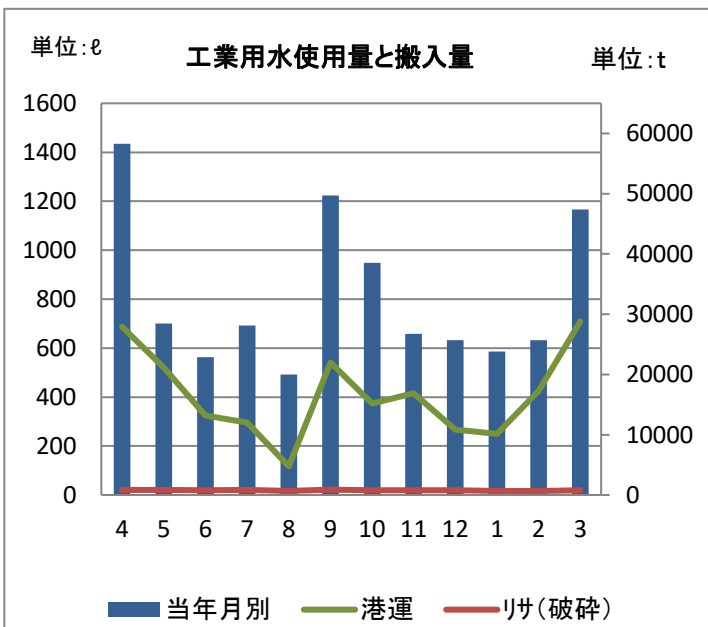


水の使用量



＜工業用水＞

工業用水は主にウッドチップの荷役作業、リサイクル事業において、チップの飛散防止に使用しています。
天候や貨物の状況により、使用量が異なります。



＜上水＞

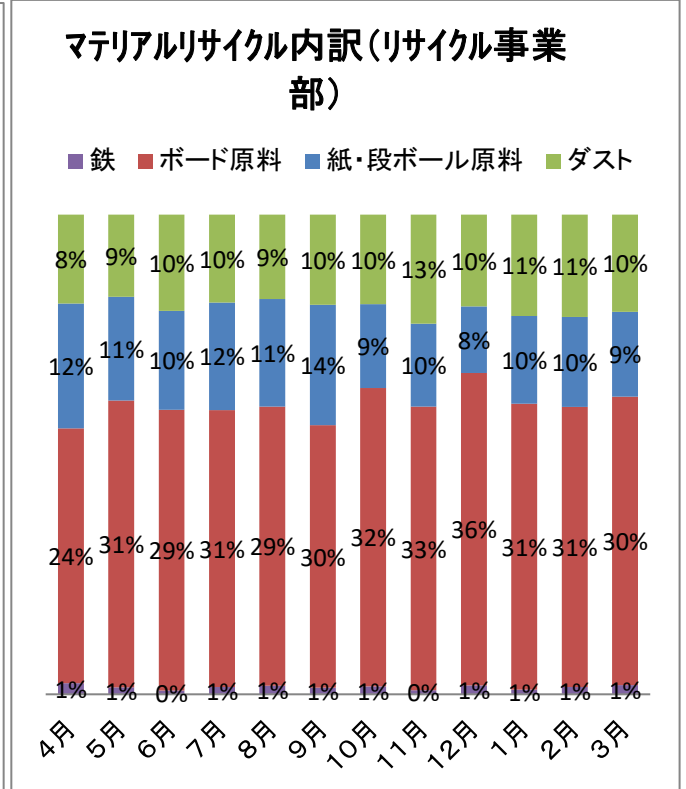
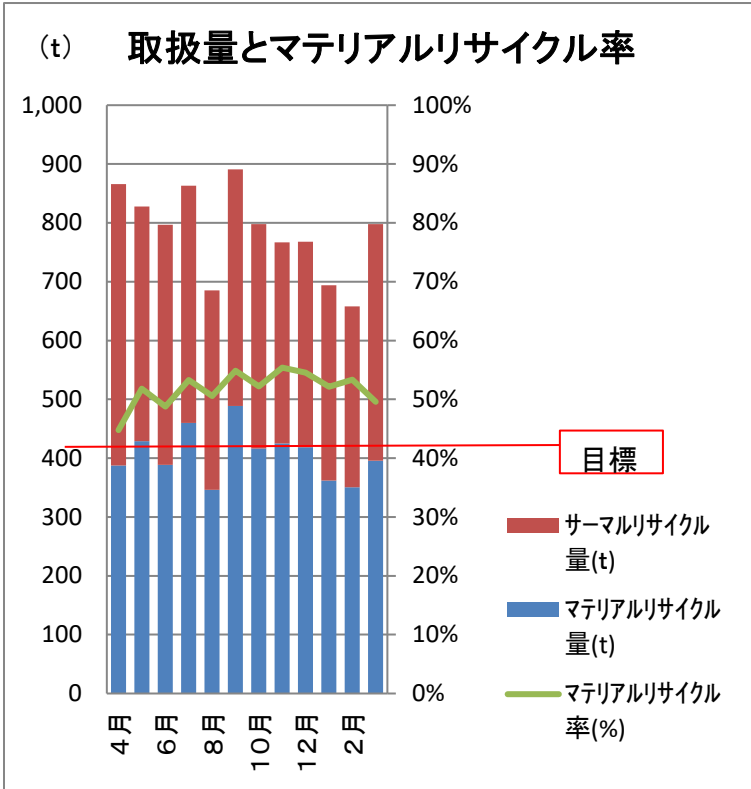
今年度は、引き続き、感染症予防対策のため、手洗い・うがいを行いましたが、節水を心掛け、前年度より上水道の使用が減少しました。

2-3月の急増は4月に普段人が立ち入らない場所で漏水が発見されたので、その影響と思われる。

マテリアルリサイクル

廃木材破碎事業

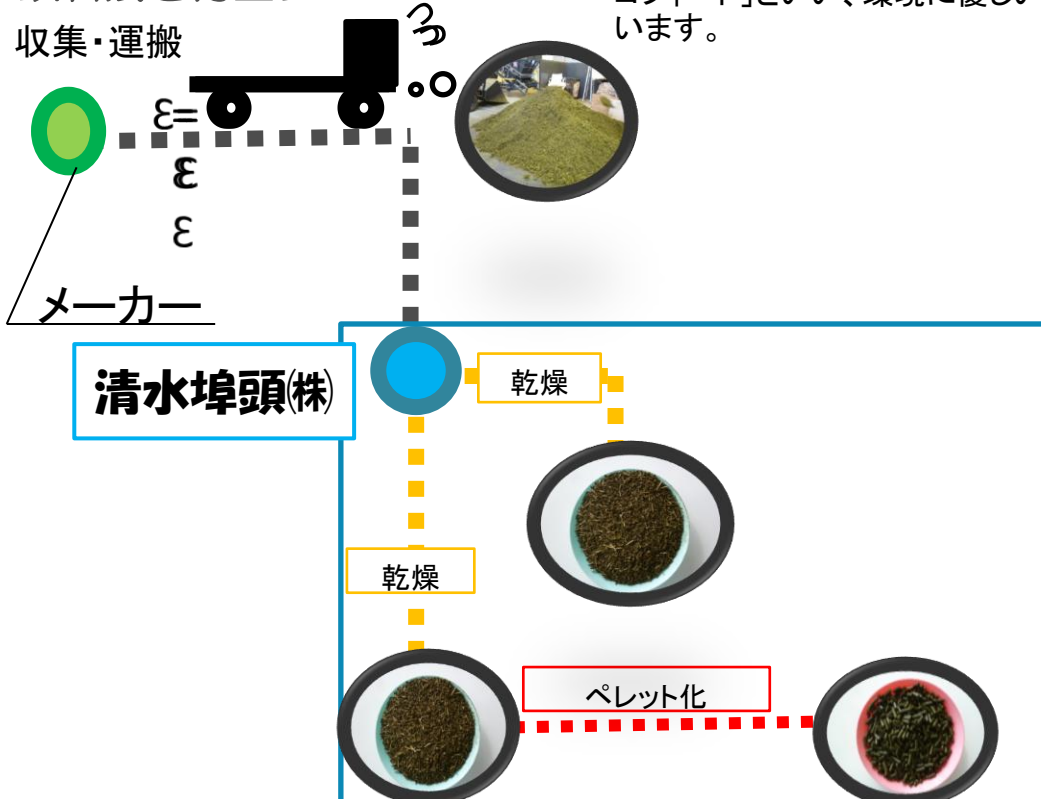
年間平均では、目標の43%を大幅に上回る49%のマテリアルリサイクルを実施することができました。予め顧客にある程度の仕分けをしてから持ち込んでもらうことを呼びかけ、無理のないマテリアルリサイクルを継続していきたいと考えています。



動植物性残さ乾燥事業

飲食品工場の製造過程で発生した大量の植物残さを搬入し、当社の乾燥プラントで飼料化します。このように飲食料品の残さ物を使い再生された飼料を「エコフィード」といい、環境に優しい資源の開発に取り組んでいます。

飲料残さ再生フロー



エコ・社会貢献活動



清掃活動

当社では毎月全従業員参加で、事務所の近隣、港湾用地等の清掃活動を実施しています。また、ポイ捨て禁止等の注意喚起ポスターを貼り、会社周辺地の美化に努め、2024年1月からは臨港道路の側溝清掃も定期的に行っています。

清掃活動日… 毎月 第2月曜日

グリーン購入

社内で使用する文房具等において、エコマーク商品の購入を努めています。物品の適正購入とあわせて、今後もエコマーク商品の購入を推進していきます。

消火訓練

毎年、11月22日に消火訓練を行っています。初期消火で慌てずに対応できるよう、訓練を行っています。



献血活動

日本赤十字社が行う献血に、年2回、会社として積極的に協力しています。(献血場所の提供、社員への周知)

□ 環境関連法規制等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次のとおりです。

法規制等の名称	該当する要求事項	該当する設備・項目	届出先	担当部	判定			
廃棄物処理法	・一廃収集業者の許可証確認（写し保管）	一般廃棄物 (紙、木くず、生ごみ等)		総務部	○			
	・産廃収集運搬・処理業者との契約、許可証写し保管	産業廃棄物 (金属類・廃プラ類・ 廃ガラス・廃油・ 木製パレット・ 動植物残さ)	静岡県	全部署	○			
	・保管基準 60cm×60cm以上表示、 飛散・浸透防止、衛生管理							
	・マニフェスト交付 B2、D、E票の保管（5年間）、D票90日E 票180日以内に送付されない場合は、30日以内の 知事への報告							
	・産業廃棄物管理票交付等状況報告書の提出					静岡市	総務部／ リサイクル 事業部	6月初 報告予定
	・産業廃棄物処分業許可更新					静岡市	総務部／ リサイクル 事業部	2019年 5月31日 更新
・産業廃棄物処理施設設置許可 変更届	破砕機、乾燥機	静岡市	リサイクル 事業部	○				
消防法	・危険物保管の指定数量以上の許可申請 ・危険物保管の指定数量以上の危険物 取扱者の届出	A重油 石化木綿 灯油 木くず	消防署	総務部	○			
静岡県生活環境保全条例	・騒音、振動に関する規制基準の遵守、 市役所への届出	3.75Kwh以上のｺﾝﾌﾟﾚｯｻ 3.75kwh以上の空調機器	静岡市	総務部	○			
労働安全衛生法	・労働衛生 ・労働災害の防止 ・安全衛生委員会の設置（定例会議の実施） ・衛生管理者の設置	全社の施設	労働基準監督署	安全衛生 委員会	○			
海洋汚染等及び海上災害防止に関する法律	・海洋への油の排出の防止 ・海上汚染の防止	タグボート		曳船部	○			
化学物質排出把握管理促進法（PRTR法）	・有害性のある、様々な化学物質の環境への 排出量を把握 ・化学物質を、取り扱う事業者の自主的な 化学物質の管理の改善化学物質による、 環境保全上の支障が生ずることを未然防止	くん蒸施設	静岡市	倉庫部／ 総務部	5月17日 報告済			
浄化槽法	・浄化槽設置の届出 ・登録業者による保守点検 ・許可業者による清掃 ・指定期間による法定検査	浄化槽設置箇所 (本社事務所、住友ﾾｲﾄﾞ事務所、 穀物ﾾｲﾄﾞ事務所、ﾘｻｲｸﾙ事 務所)	県環境保健 センター	総務部	2023年 10月6日 検査済			
グリーン購入法	出来る限り環境物品等を選択するよう努める	文房具等		総務部	○			
フロン排出抑制法	・充填、回収を行う場合、充填基準及び回収 基準に従い実施を行う	空調設備	静岡県	総務部	○			

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。

なお、関係当局よりの違反、訴訟の指摘は、過去三年間ありません。

2025年6月6日 環境管理責任者 和田 直隆

代表者による評価と見直し結果

1.環境経営方針

方針内容については、当社の企業理念とも整合しており、引続き取組んでいくこと。

2.目標・活動計画

環境活動は、当社の中期事業計画の指針事項である「既存事業の基盤強化」や「安全衛生管理」に沿って実施され、成果を挙げている。

今後も同様に、業務と連動させながら進めていくこと。

3.環境経営システム、その他の各要素

経営方針と整合させ、全社的に取組んでいけるよう、各部においては情報の共有化に努めること。

4. 実施体制

エコアクション21推進委員会の各委員は、設定した経営環境目標の達成に向けて真摯に取り組み、貨物の取扱量や質の変動等によりエネルギー使用量は左右されるものの、その内容をしっかり分析するとともに、取り組みに反映するPDCAの取り組みを進め、良い結果が出るよう努力している。また、委員会では積極的な意見交換による情報共有が図られている。

5. 総合評価

活動自体は各部取り組んでいる。引き続き目標を意識して活動していくこと。

2024年5月31日

常務取締役 牧野 央